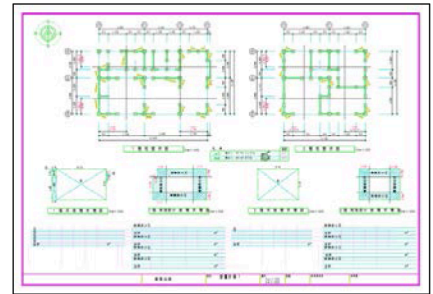


プランニングの要素はこれ！

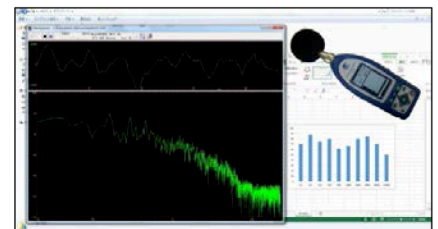
プランニングの要素はこれ！					
コース名	木造住宅の基本計画技術				
コース番号	6H109	日程	9/7(土), 14(土)	時間	9:00~16:00 (合計12時間)
定員	10名	会場	ポリテクカレッジ島根 (江津)	受講料	¥8,500
訓練目標	木造住宅の高付加価値化をめざして、建築物の構造計画、構造安定性を確保した架構設計に必要な知識を理解し、新たな品質の創造に向けた構造伏図の作成を通して、架構設計ができる技能・技術を習得します。				
対象者	申請図面の作成業務等に従事している方にお勧めします。 (木造住宅の生産・施工・設計に従事する技能・技術者等)				
内容	1. 設計の概要 (1) 企画から完成までの住宅設計の概要 (2) 住宅の構造の概要 (在来軸組 枠組壁構造) (3) 企画・調査内容と方法 2. 住宅設計に関する各種法令と住宅性能 (1) 宅設計、施工に関する各種法令 (2) 各種法令の相関関係と申請や検査のタイミング (3) 住宅の性能や仕様を決める制度 3. 設計条件の設定 (1) 各種条件の抽出 (2) 条件の整理 4. 構想とエスキス実習 (1) 計画方針 (2) 配置・平面・断面計画とゾーニング (3) ボリュームチェックについて (4) 設備計画について (5) 基本プラン作成の解説および実習 5. 法規制の検討 (1) 構造計画 (2) 採光・換気・排煙計画・実習 6. 基本設計図書の作成				
使用機器	パソコン				
持参品	筆記用具、関数電卓				



課題例

室内環境を数値で確認

室内環境を数値で確認					
コース名	住宅の音環境性能測定実践技術				
コース番号	6H110	日程	5/11(土), 18(土)	時間	9:00~16:00 (合計12時間)
定員	10名	会場	ポリテクカレッジ島根 (江津)	受講料	¥8,000
訓練目標	建築環境の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた建築環境実習(演習)を通して住宅の音響測定、並びにその調査手法を習得します。				
対象者	住宅を中心とした音環境について学びたい方にお勧めします。 (住宅の設計及び施工に従事する技能・技術者等)				
内容	1. 住宅性能表示制度の概要 (1) 住宅の品質確保の促進などに関する法律について (2) 音環境に関する性能表示基準と評価方法基準 2. 実習：設計事例に対する音環境の性能評価 (1) 重量床衝撃音対策 (2) 軽量床衝撃音対策 (3) 界壁透過損失等級 外壁開口部透過損失等級 3. 予測性能と竣工性能との対応等 (1) 予測値・期待値と竣工時実測値との対応 (2) 竣工性能のばらつきの実態とその原因 4. 住宅の遮音性能に関連する測定・評価方法 (1) 性能表示に資料を得るための実験室測定方法 (2) 竣工性能測定、音環境障害実態、障害原因探査のための現場測定方法 (3) 評価方法 5. 測定実習 (1) 室間音圧レベル差測定 (2) 床衝撃音レベル測定 (3) 室内騒音測定 (4) 内外音圧レベル差 (5) 外部騒音				
使用機器	騒音計、周波数分析器、雑音発生器、軽量衝撃源(タッピングマシン)、重量衝撃源(インパクトボール)				
持参品	筆記用具、関数電卓				



測定例

※受講料は消費税の変更により改定する場合があります。